(所属 家庭・地域学びの課)

《市立公民館・交流センター》 ・成人学校・教養講座の開設 受講者が利用しやすい講座開設時期・時間や回数の設定 ・公民館学級・講座の開設 「家庭の学び(親子学級)」、「地域の学び」の充実 「家庭の学び(親子学級)」、「地域の学び」の充実 「家庭の学び(親子学級)」、「地域の学び」の充実 「家庭や地域における教育力中で、家庭や地域がつながりに支えあうために「家庭の学学で」について、必要な情報に答める。 ・家庭や地域における教育力中で、家庭や地域がつながりに支えあうために「家庭の学学で」について、必要な情報に答める。 ・家庭や地域がつながりに支えあうために「家庭の学学で」について、必要な情報に変める。 ・全種学習センター》 ・主催及び高等教育機関との連携講座 ・親子わくわくフェスタ ・学会、各種総会等の場の提供 ・市民及び企業の自主的学習講座の場の提供 ・市民及び企業の自主的学習講座の場の提供 ・生涯学習情報の収集と提供 ・生涯学習情報の収集と提供 ・生涯学習情報記「ながの生涯学習だより」の発行 「生涯学習情報記「ながの生涯学習だより」の発行 「生涯学習情報記「ながの生涯学習だより」の発行	事 業 名		平成30年度の実施状況(成果・課題)等
・主催及び高等教育機関との連携講座 ・親子わくわくフェスタ ・学会、各種総会等の場の提供 ・市民及び企業の自主的学習講座の場の提供 (2) 生涯学習情報の収集と提供 ・生涯学習センター「まなびいのページ」及び公民館のホームページ更新 ・生涯学習情報誌「ながの生涯学習だより」の発行 204,941人、平成30年度199,2 万人が利用しており、中心市 点から一定の役割を果たして ・生涯学習センター主催の講 48講座)の延べ1,968人の受討 あった。今後も市民の学習ニ 座の開設を図り、広く周知す 全市的な生涯学習の拠点施設 果たしていく。		《市立公民館・交流センター》 ・成人学校・教養講座の開設 受講者が利用しやすい講座開設時期・時間や回数の設定 ・公民館学級・講座の開設	・家庭や地域における教育力の重要性が増す 中で、家庭や地域がつながりを深め、お互い に支えあうために「家庭の学び」、「地域の 学び」について、必要な情報や取組みなどを
2回発行した。また、市ホーびいのページ」に情報を掲載 (3) 社会教育団体等育成 ・地域公民館建設等事業補助		・主催及び高等教育機関との連携講座 ・親子わくわくフェスタ ・学会、各種総会等の場の提供 ・市民及び企業の自主的学習講座の場の提供 (2) 生涯学習情報の収集と提供 ・生涯学習センター「まなびぃのページ」及び公民館のホームページ更新 ・生涯学習情報誌「ながの生涯学習だより」の発行 (3) 社会教育団体等育成	・市民への学習情報の提供のため、情報誌を 2回発行した。また、市ホームページ「まな びぃのページ」に情報を掲載した。 ・地域公民館建設等事業補助金

事業名	実 施 概 要	平成30年度の実施状況(成果・課題)等
	(4) おひざで絵本事業 7~8か月児健康教室において絵本の読み聞かせを行い、希望する絵本を贈呈	・平成30年度は、2,522人に絵本を配付した。絵本の配付に加え、絵本の選び方、読み聞かせ方のアドバイスを通して絵本の大切さを保護者に啓発することができた。また、健康教室へ参加する保護者の増加にもつながり、絵本の配付率は91.3%だった。
	(5) 子どもの読書活動推進 平成30年4月にスタートした第三次長野市子ども読書活動推進計画に基づき、 子ども読書デーに合わせた講演会等の開催、読書を通じた国際感覚の形成など子ど もの読書活動を推進する。	・子どもの読書推進にかかるワークショップ を開催し、計55名の参加があった。市立図書 館や公民館においても読み聞かせ会等が実施 された。
2 公民館等施設整備事業	 (1) 公民館投資的工事 ・川中島町公民館 川中島分館 耐震補強工事 (川中島町公民館) ・信州新町公民館 照明器具交換工事 (信州新町公民館) (2) 維持補修的工事 ・豊野公民館 手摺塗装工事 (豊野公民館) ・更北公民館南側緑地帯整備工事 (更北公民館) (3) 芹田総合市民センター建設事業 ・【委託】設計意図伝達業務委託/工事監理業務委託/物品輸送運搬業務/廃棄物収集運搬処理業務 ・【工事】建築主体工事/電気設備工事/機械設備工事/既存公民館解体工事(4) 篠ノ井総合市民センター建設事業 ・【委託】設計意図伝達業務委託/工事監理業務委託/物品輸送運搬業務/廃棄物収集運搬処理業務 ・【工事】建築主体工事/電気設備工事/機械設備工事/道路新設工事(5) 中条総合市民センター建設事業 ・【委託】設計意図伝達業務委託/工事監理業務委託 ・【工事】中条公民館解体工事/建築主体工事 	・芹田総合市民センター建設工事、篠ノ井総合市民センター建設工事、戸隠大ホール特定 天井耐震改修外工事、信州新町空調設備改修 工事、更北集会室空調設備更新工事、ノルテながの大規模修繕工事等を実施した。予定していた建設工事、耐震補強工事等、全てを実施した。 ・市立公民館の老朽化が進み、改築、改修 (耐震化を含む)、修繕要望が増加し、財源の 捻出が課題となっている。

事 業 名	実 施 概 要	平成30年度の実施状況(成果・課題)等
3 公民館の指定管理 者制度導入及び交 流センターの導入	(1) 直営公民館への指定管理者制度の導入に向けた意向協議を実施 (2) 指定管理に移行した芋井公民館・信更公民館・若槻公民館・更北公民館・吉田公民館・安茂里公民館・川中島町公民館・芹田公民館・長沼交流センター・篠ノ井交流センターの指定管理者に対して、家庭・地域学びの課の専門の職員(社会教育主事等)の助言指導の実施。 (3) 試行的に交流センターに移行した4館の課題の把握に努める。	・指定管理導入に係る説明会を3地区実施した。 ・平成30年度から芹田公民館が指定管理に移行した。 ・長沼・芋井・篠ノ井・信更・若槻・更北公民館・吉田公民館・安茂里公民館・川中島町公民館の指定管理者に対して、モニタリング等を活用して事業実施への助言指導を実施した。 ・柳原・長沼・小田切・篠ノ井の交流センター移行を進めた。
(青少年担当) 4 青少年対策	(1) 成人指導者の養成・地区派遣 成人指導者研修会 子ども会活動に関心と興味をもち、既に活動している方又はこれから活動しようとする方を対象に開催。 ・実施回数 年間 5回 ・実施場所 古里公民館ほか 主な研修内容 ・指導者の任務、がん具等工作物の製作技術の習得と指導方法 ・情報交換等研究と指導者・技術の習得と指導方法 ・講話(育成指導に関わる情報や技術等) (2) シニア・ジュニアリーダー養成・地区派遣 長野市子ども会リーダー研修会 小学5・6年生、中学生、高校生を対象に行っている。各地区子ども会の指導的なリーダーを養成することを目的とする。 ・実施回数 年間 6回 ・実施場所 青少年錬成センター 2回 (一泊二日) ふれあい福祉センター 4回 (1日)	研修会参加者を市報、有線放送等で募集を行った。 また、工作の種類を増やすために研修会を5回開催した。 地区への派遣を増やすため、単位PTAや補助金利用団体等へのチラシ送付や青少年健全育成フェスティバル等の開催時に実演紹介ブースを設営するなどPR活動を行った。・研修会参加者延べ59名・地区派遣34件 各地区に子ども会リーダーが存在する構成が理想であるため、住民自治協議会に地区のリーダーをなり得る子どもを推薦していただくようお願いをした。 ・研修会参加者延べ96名

事 業 名	実 施 概 要	平成30年度の実施状況(成果・課題)等
	(3) 青少年健全育成情報交換会 各地区の青少年健全育成に関わる役員が活動状況・課題等について情報交換を行い、地区活動の充実に努めるとともに、地域相互のつながりを深める。 ・実施期日 5月・11月の年2回開催 ・実施場所 中部公民館・ふれあい福祉センター	住民自治協議会の選択事務となっているため、全地区参加ではない。地区の情報交換の場、課題等について話し合いの場となっているが、年々参加者が減っており、開催周知・内容の検討が必要である。 ・第1回 5月12日(土) 19地区 38名参加・第2回 11月17日(土) 13地区 29名参加
	(4) 青少年健全育成審議会 青少年健全育成に関しての企画や立案、政策の決定などの過程で、広く市民の意 見や専門的な知識を反映させるために設置。 実施期日 7月・1月の年2回開催 実施場所 第一庁舎7階第二委員会室 審議会委員 13名 審議内容 ・青少年健全育成事業、少年育成センター事業について ・青少年を取り巻く現状について	青少年健全育成事業、少年育成センター事業の概要を説明し、青少年を取り巻くネットの問題について審議した。 ・第1回 7月11日(水)・第2回 1月16日(水)
	(5) 子どもキャンプの開催 子どもたちが、豊かな自然の中での生活を通して、心身を・鍛え、豊かな人間 性を育む機会を提供する。 ・開催期日 8月2日(金)~8月3日(土) 1泊2日 ・開催場所 長野市青少年錬成センター ・参加者 小学校4年生~中学校3年生 60名	60名の参加者で実施した。子どもたちは、 担当班の役割を果たしながら、普段と違った 環境の中で集団生活を体験した。 8月3日(金)~8月4日(土)1泊2日
5 青少年育成環境整備	(1) 青少年健全育成フェスティバル 家庭・学校・地域が連携しながら、それぞれの役割を果たし、青少年の健全育成 を図ることを目的に、10月の「長野市青少年健全育成環境浄化強調月間」に合わせ て開催するもの。 また、青少年健全育成作品コンクール作品受賞者の表彰を行う。 ・実施期日 10月12日(土) ・実施場所 長野市芸術館 メインホール ・参加対象 青少年健全育成に関心のある市民	H26年度から長野市PTA連合会との共催とし、子どもたちの発表を取り入れる等内容を工夫した結果、参加者が増加した。今後は、長野市PTA連合会や企業・団体への協力を検討する。 ・10月13日(土) 実施 ・実施場所 若里市民文化ホール ・参加者 570名

事 業 名	実 施 概 要	平成30年度の実施状況(成果・課題)等
	(2) 青少年健全育成作品コンクール標語・作文・ポスターの募集 児童・生徒から青少年の健全育成に係る標語・作文・ポスターを募集し、優秀作品を公開、展示することにより、児童・生徒や広く一般市民の青少年健全育成に対する意識を高める ・健全育成部門 ・家庭の日部門	児童・生徒の夏休み時に依頼しているが、 各種の募集と重なるため作品数は少ない状況。10月の強調月間に合わせての募集になる ため、時期の変更はできないので引き続き教 頭会で応募依頼をするなど作品数が増えるよ うにする。
6 少年育成センター 運営	(1) 巡回指導活動 有害図書類取扱店舗等への立入調査を行う。 調査予定 コンビニエンスストア 約180 店 書店・レンタル店等 約30 店	コンビニエンスストア、書店、ビデオ (DVD) レンタル店等を巡回し、長野市青少 年保護育成条例の周知・徹底を図った。自主 規制により概ね適正に管理されている。 青少年のネットトラブルが急増しているた め、H28年度から始めた携帯端末販売店の巡 回訪問を継続している。
	(2) 少年相談連絡会 相談者に対する指導・支援の具体的なあり方や各関係機関の役割・機能について 協議し、連携を図る。 ・実施期日 ①7月2日(火) ②12月12日(木) ・実施場所 少年育成センター会議室 ・参加者 関係者 16機関	関係機関(法務・警察・福祉・医療等)の役割、機能について相互理解を深めた。また、連携を深めるため、家庭裁判所の視察研修を行った。 今後も引き続き、少年の事例を通して関係機関と密接な連携を図る。
7 青少年団体育成補助金	(1) 事業補助金 青少年育成を目的にしている市内団体に対し、事業活動の補助金を交付すること により、健全育成を側面から推進をお願いするもの ・子どもわくわく体験事業補助金	地区の子ども体験事業実施に際しての役割を果たしている。長野市全域の育成会、住民自治協議会等で利用されることが理想であるが、地区育成会等の役員が1年で交代になることが多く、補助金があることも知らないケースがあるため、引き続きPR活動を行う必要がある。 ・交付申請件数 104件 3,468,000円
8 家庭教育力向上	長野市教育振興基本計画の「家庭の教育力向上」を目指す。 (1) 家庭教育力向上事業 小・中学校PTA組織による家庭教育研修会に10,000円の助成を行うもの。	小・中学校PTA組織による家庭教育研修会を開催した12校に助成を行った。 助成があることも知らないケースがあるので申請校数を増やすため、長野市PTA連合会、長野市校長会、教頭会での趣旨説明のほか、PR活動を行う必要がある。 ・助成件数 12校 120,000円

事 業 名	実 施 概 要	平成30年度の実施状況(成果・課題)等
	(2) 家庭教育力向上講座 市立公民館において、親子を対象とした「親子学級」を実施する。	親子学級を実施している市立公民館 29公民館 実施回数399回 参加者数10,055人
	(3) 家庭教育講座(乳幼児を持つ保護者向け) 保健センターで実施される7~8ヶ月児健康教室において、啓発パンフレットを 配布し、保健師が解説を加える(保健所健康課連携事業)。	家庭教育講座 全保健センターで実施 156回 2,451組
	(4)「長野市大人と子どもの心得八か条」家庭用版を新小学1年生、新中学1年生に配布する。 また、学級内掲示用にA2判ポスターも作成し、教室内でも実践してもらう。	4月の校長会で説明をし、新小・中学1年生へ配布した。配布に際しては、家庭内の目につく場所に貼っていただき、実践していただくよう併せて依頼した。
9 青少年錬成センタ 一管理運営・施設 整備	屋内、屋外での活動を通して、明るく、たくましい、心身ともに健全な青少年の育成を図ることを目的に昭和57年4月開所 平成13年5月、小田切小学校閉校に伴い、後利用として錬成センター分館として開 所	青少年の体験活動の場として利用していた だいている。 ・利用者数 17,043人 内訳 本館 15,200人 分館 1,843人
10 少年科学センター 管理運営・施設 整備	21世紀を担う子どもたちに、科学とそれに関連する基礎的な科学機器を展示し、 遊びの中に科学する芽を養い、潜在的興味を喚起する施設として、昭和60年7月開館 指定事業 (1) 展示事業 自主事業 (1)実験工作教室 (2)サイエンスショー (3)幼児向け教室 (4)映画上映 (5)イベント・特別教室開催 (6)アウトリーチ事業	開館30年以上が経過しており、展示物の老朽化が課題である。 展示物はオーダーメイドであり、高価なため、更新が進まないのが課題。 しかしながら、指定管理者が自主事業としてソフト事業の充実を図るなど工夫して運営しているため、例年10万人を超える入館者がある。 ・H30年度入館者数 109,682人(H23年度から10万人超) ・H30年度展示物更新件数 4件

(所属 三輪公民館)

事	業	名	実 施 概 要	平成30年度の実施状況(成果・課題)等
1 基本	方針		① 生涯学習の拠点施設として、住民自治協議会と連携した事業実施に努める。 ② 地域の要望や課題を適確に捉え、健康・歴史等各種講座等を企画実施する。 ③ 家庭・地域・学校と協働し、学びの講座を通して地域づくりに寄与する。 ④ 安全・安心な施設の維持管理に努め、貸館等、地域住民の利用促進を図る。 ⑤ おもてなしの心を基本に、明るいあいさつと心の通った接遇を第一とする。	

事 業 名	実 施 概 要	平成30年度の実施状況(成果・課題)等
2 成人学校	3講座を開催 (書道、絵画、英会話) ※更に現在、ヨガ講座を検討中	成人学校4講座の開催 (書道、木彫り、絵画、英会話) ※書道や絵画等の受講生の作品は、公民館の 展示スペースで、常時短期間の入れ替え展示 をしており、文教の地らしいと来館者にはと ても 好評を頂いている。
3 学級講座	5講座を開催 (三輪教養大學、習得そば講座、茶道教室、信濃の歴史、子育てセミナー)	学級講座5講座の開催(三輪教養大學、茶道教室、信濃の歴史、子育てセミナー、おうちカフェ) ※三輪教養大学は1年生から4年生までの50人が、様々なジャンルの講義や実習を毎回、貪欲に学ぶ生涯学習の最先端の場である。
4 単発講座	5講座を開催 (ロールケーキ作り、山野草の苔玉、おやき、ジャズコン、健康な歩き方、 健康ヨガ、パッチワーク、手打ちそば、中国ホストタウン交流、干支の手芸)	単発講座10講座の開催 (山野草の苔玉、おやき作り、ジャズコン サート、呼吸体操、牛寿司作り、パッチワー ク、手打ちそば、火鍋料理、干支の手芸) ※火鍋料理は長野市ホストタウン交流として 国際交流特別専門員を講師に迎え、本場の料 理実習と中国文化の講義や交流を深めた。
5 キッズ・モノづく り体験	年間5回開催 (父の日親子でピザづくり、夏休み化石探検、ハロウィンのお菓子づくり、お正月 のミニ門松づくり、お洒落なバレンタイン)	キッズ・モノづくり体験事業を年間5回開催 (小学生対象) ※父の日うどん作りなどに、延べ164人の親 子が参加。公民館が身近な地域の学び、集い の場として愛されている。
6 成人祝賀式	令和元年度に長野市芸術館で開催する、8館合同成人式の実行委員会事務局 として円滑な式典運営を企画・準備する。 対象地区(第一〜第五、芹田、古牧、三輪、浅川、若槻、小田切)	H30年度の参加状況(8館合同、地区外含む) 対象者1,456名、参加1,064名、参加率73.1%
7 地域の学校との 連携・学びの交流	昨年度、三輪の地に開学した長野県立大学と連携して、公民館講座に学長講話や 学校施設見学、県立大学生との意見交流会等を取り入れ、地域住民との学びの交流 を継続する。(5月10日開催の三輪教養大学にて実施)	地域の学校との連携・学びの交流 長野ろう学校生徒と三輪教養大学受講生50 名が手話で交流を行い、また 教頭先生から
8 「館報みわ」の 発行	住民自治協議会や10地区の地域公民館長と協働し、公民館や地域のさまざまな情報を三輪地区全世帯に発信する(年3回 毎回7,000部)	は特別支援教育についての講話をお聞きし た。

事 業 名	実 施 概 要	平成30年度の実施状況(成果・課題)等
9 三輪公民館の貸 館、体育館施設の 受付け、および図 書の貸し出し	地域住民の「集い、学び、繋がる」生涯学習の場として、施設の一層の利用促進に努める。 また、好評の読書通帳を継続し、子どもの表現力や想像力を育む読書活動の一層 の推進を図っていく。	・合唱サークル合同発表会(春と秋の2回に分けて開催) ※合唱の利用団体が大変多いため、住民に一般公開して音楽の祭典をお楽しみ頂いた。 ・読書通帳の導入 ※三輪公民館オリジナルの制度を図書室に導入した結果、図書の貸し出しが年間7,755冊と前年度比131%(児童は172%増)となり、本に親しむ親子も大幅に増えた。 ・地域の学校との連携・学びの交流 ※三輪地区には保育園〜大学までがあり、それぞれの学校と学びの交流を図っている。 H30年度は長野ろう学校生徒と三輪教養大学受講生たちとが、手話で交流を行い、また教頭先生からは特別支援教育についての講話をお聞きした。

(所属 長野図書館・南部図書館)

事	 業	名	実 施	概 要	平成30年度の実施状況(成果・課題)等
7	* 	4	長野図書館事業概要	南部図書館事業概要	十成50千及の矢旭状が(成末 床屋) 守
1 資料	·収集等		 資料購入 ・図書資料 (CD・DVD) 250点 ・新聞・雑誌 		 ・平成30年度資料購入冊数(長野・南部総計)31,919冊 (内訳)長野 15,600冊 (うち視聴覚資料 195点)南部 16,319冊 ・平成30年度末蔵書数(長野・南部総計)1,044,107冊 (内訳)長野 665,955冊 (うち視聴覚資料10,369点)南部 378,152冊 ・平成30年度利用状況(長野・南部総計)貸出利用者数 294,774人 (前年度比 33,808人減)(内訳)長野 144,987人南部 149,787人 南部 149,787人 貸出冊数 1,422,556冊 (前年度比 166,780冊減)

₫	事 業 名	実 施 概 要		平成30年度の実施状況(成果・課題)等
7		長野図書館事業概要	南部図書館事業概要	十成30年度の美胞仏流(成未・誅題)寺
				(内訳) 長野 720,153冊 南部 702,403冊 ・利用者が安全に安心して施設を利用できる よう長野図書館で特定天井の耐震工事等を 行った。(9/3~12/18)3箇月半臨時休館し たため、長野図書館の貸出利用者数、貸出冊 数が減少したが、南部図書館と移動図書館は 前年度より増加した。
2	障害者ライブラ リー (長野) 移動図書館等 (南部)	・視覚障害者等に録音図書、点字図書の貸出 ・録音図書、点字図書の制作 ・サピエ(視覚障害者等のための点字・録音図書の情報ネットワーク)への点字図書(データ)、デイジー図書(目録)の登録及び利用の促進 ・対面朗読	・移動図書館 移動図書館車3台により、市内92か所 を20コースに分けて巡回・貸出 (月〜土曜日運行、ただし、火曜日、 祝休日、お盆、年末年始、資料整理期間 を除く。) ・分室 28分室(市立公民館・交流センター) へ随時配本 ・市民文庫 市内32か所の福祉施設・地域文庫等へ 2か月に1度巡回・貸出	・障害者ライブラリーについて、平成22年に 点字・録音図書をサピエ(視覚障害者のため の情報ネットワーク)へ登録したことによ り、全国の図書館・利用者に貸出しをしてい る。 ・録音・点字図書制作 62タイトル ・対面朗読 152回 ・移動図書館について、開設場所の変更と開 設時間の調整を行なった。(南部)
3	行事・催し物等	(1) おはなし会(絵本の読み聞かせ、紙芝居、折り紙等) 毎週水曜日 午後3時~3時30分~3時毎週土曜日 午後2時30分~3時毎週日曜日 午前11時~11時30分(2) お楽しみ会(人形劇、絵本の読みがたり、パネルシアター、ハンドベルの演奏、工作等) 5月 こいのぼりお楽しみ会7月 たなばたお楽しみ会7月 たなばたお楽しみ会2月 節分お楽しみ会3月 魯桃桜お楽しみ会3月 魯桃桜お楽しみ会3月 魯桃桜お楽しみ会31 おはなしカーニバル(人形劇、絵本の読みがたり、パネルシアター、ハンドベルの演奏、工作等) 11月	(1) あかちゃんのおはなし会(赤ちゃんマッサージ、手遊び、絵本の読みがたり等) ・毎月第1水曜日午後1時30分~午後2時00分(2) おはなし会(絵本の読みがたり、紙芝居、折り紙、工作等) ・毎月第2・第4水曜日午後4時10分~午後4時40分・毎月第3・第5水曜日午前11時00分~午前11時30分(3) こども会(人形劇、絵本の読みがたり、ブラックパネルシアター、パネルシアター、ハンドベルの演奏、工作等)5月:たんぽぽこども会7月:夜のなつやすみこども会12月:クリスマスこども会	・おはなし会を102回開催し、1,422人の参加があった。(長野) ・お楽しみ会等を5回開催し、392人の参加があった。(長野) ・読書感想画応募222点(長野) ・除籍雑誌等のリサイクル市を開催し,304人の参加があった。(長野) ・映画上映会を開催し、524人の参加があった。 ・読みがたり講座(5回シリーズ)を開催し、25人が受講した。 ・お天気教室in長野図書館を長野地方気象台と共催し、41人の参加があった。 ・あかちゃんのおはなし会を10回開催し、503人の参加があり、好評であった。(南部)

事業。	実 施	概 要	平成30年度の実施状況(成果・課題)等
学 木 ?	長野図書館事業概要	南部図書館事業概要	十成30千度の矢池仏が(成未・誅趨) 寺
	(4) 読書感想画展 (5) 除籍雑誌等リサイクル (6) 映画上映会の開催(毎月第2・第4土曜日) (7) 読みがたり講座(9月~11月 全5回) (8) 講演会 「長野を訪れたノーベル賞作家ーウィリアム・フォークナーと長野」7月予定 「魯桃桜ヒミツ(仮)」3月予定	(4)南部図書館まつり 10月 読書週間に併せて2日間開催 ・講演会、ワークショップ、おはな しの部屋、工作の部屋、スタンプラ リー,リサイクル広場、読書感想画展、 手作り絵本展示等 (5)読み聞かせ講座(1月~2月開講) ①初心者講座 ・読み聞かせ、門コース ・読み聞かせボランティア入門コース ②中級(ステップアップ)講座	・南部図書館まつりを10月に開催し、2,314 人の参加者があった。(南部) ・読み聞かせ初心者講座を開催し、読み聞か せ入門コースに33名、読み聞かせボランティ ア入門コースに31名が受講した。(南部)
4 図書館協議会	図書館法第14条第1項の規定を受け、長野 回開催(7月、2月)(主務:南部)	F市立図書館条例第 6 条により設置。年 2	・図書館協議会を年2回開催した。
5 その他	(1) 蔵書点検整理・館内整理:6月5日~11 日・毎月1回 図書整理 (2) 図書館システム更新: 更新に伴う臨時 休館:12月2日~15日(予定) (3) レファレンス事例の公開 国立国会図書館が運営する協同データ ベース事業へレファレンス事例の登録を 継続して行い、利用の拡大を図る。 (4) 音楽配信 インターネットの配信サイト(ナクソス ミュージックライブラリー)を利用 ID/パスワードの貸出	 (1)蔵書点検整理・館内整理 ・年1回 2週間以内 (6月26日~7月2日) ・毎月1回 図書整理 (2)青少年・高齢者向け等の企画、地域 課題に対応する企画展の開催 (3)図書館職員おすすめ本の紹介 年2回(7・10月) (4)図書館システム更新に伴う臨時休館 (12月2日~12月15日(予定)) 	・レファレンス事例について、平成31年2 月、国立国会図書館から長野図書館に、「当 事業の発展に多大な寄与をした」と御礼状が 贈られた。(6年連続8回目) ・青少年向け企画展示2回、高齢者向け企画 展示2回(長野) ・調べ方案内(パスファインダー)は全48 テーマになった。(長野)

事業	名	実 施	概要	平成30年度の実施状況(成果・課題)等
子	. * 1	長野図書館事業概要	南部図書館事業概要	1 观00 千皮00 关心状况 (观术 脉丛) 夺
		(5)国立国会図書館デジタル化資料及び信濃毎日新聞データベースの閲覧・複写サービス 国立国会図書館デジタルコレクションのうち絶版等の理由で入手困難な資料及び信濃毎日新聞データベースを館内の端末で閲覧・高齢者向け、今月のテーマ本等の企画展示 (7)図書館資料の広域貸出長野地域市圏内7市町村との相互利用 (8)「調べ方案内(パスファインダー)」の発行年間2~4回程度の受入れ (10)学校図書館への支援 (11)図書館への支援 (11)図書館への支援 (11)図書館局おすすめ本の紹介 (12)広報「魯桃桜」、子供向け館報「ふれあい」を毎月発行 ホームページ等による情報発信 (13)開架書架耐震化 (12月予定)	(8)趣味のコーナーに市民のコレクションを展示(9)学習室開放土・日曜日、祝日、夏休み・冬休み期間中等(10)長野地域連携中枢都市圏域内の7市	・職場体験、社会見学、インターンシップを受入れた。図書館業務の一端を知っていただくとともに、より図書館を身近に感じてもらうことができた。(長野231人受入れ・南部23人受入れ) ・平成30年1月に開始した長野地域連携中枢都市圏内6市町村(須坂市、千曲市、高山村、信濃町、小川村、飯綱町)との図書館資料の相互利用(広域貸出)に小布施町を追加(平成30年7月)特定天井の耐震化工事・ガラス窓等の飛散防止フィルム貼り・ガラス窓等の飛散防止フィルム貼り・ブラインド修理臨時休館:平成30年9月3日~12月18日臨時窓口開設:平成30年9月5日~12月3日(予約資料の貸出と資料の返却受付)

(所属 文化財課)

Mr	16 Ing	(所属 文化射珠)
事業名	実 施 概 要	平成30年度の実施状況(成果・課題)等
1 文化財の整備	地域の歴史や文化を物語る代表的な文化財について、保存・活用のための整備等を計画的に進める。 ○史跡旧文武学校保存整備 ・事業期間 平成23~令和元年度 (総事業費8.1億円) ・令和元年度事業 (390,969千円) 弓術所外保存修理工事、展示設備工事 ○史跡松代城跡保存整備 ・事業期間 平成27~令和4年度 (総事業費15億円) ・令和元年度事業 (68,448千円) 櫓台階段外整備工事等 ○史跡大室古墳群保存整備 ・事業期間 平成26~令和10年度 (総事業費5億円) ・令和元年度事業 (8,531千円) 古墳発掘調査等 ○重要文化財旧横田家住宅保存整備 ・事業期間 平成30~令和2年度 (総事業費1.8億円) ・令和元年度事業 (66,689千円) 保存修理工事等	・史跡旧文武学校保存整備に関しては、建造物の修理工事に先立つ耐震基礎診断及び着手した。令和元年度は展示設備工事を進める。 ・史跡松代城跡保存整備に関しては、用る地では、地区及び庁内関係課との協議調整を進める。 ・史跡大室古墳群保存整備に関しては、発掘調査を引き続き進める。また、アクセス道路整備に関しては地元とのルート調整に関める。 ・重要文化財横田家住宅保存整備に関しては、屋根の葺き替えなどの保存修理と、耐震補強工事を進める。
2 歴史的まちなみの保存・活用	地域固有の歴史的まちなみなどの環境を保存し、まちづくりの中で活用するための整備支援及び調査を進める。 ○戸隠伝統的建造物群保存地区整備 ・事業期間 平成29年~ ・令和元年度事業(42,275千円)修理事業(4件)、防災計画策定調査 ○善光寺周辺伝統的建造物群保存予定地区調査 ・事業期間 平成16年度~ ・令和元年度事業(2,010千円)保存予定地区調査、住民及び関係機関との協議調整	・戸隠伝統的建造物群保存地区に関しては、 建造物等の修理に補助金を交付する。 ・善光寺周辺伝統的建造物群保存予定地区調 査に関しては引き続き住民と関係機関等の調 整を進める。
3 文化財所有者等 への支援	市内文化財の保存・活用を推進するため、補助金交付等により文化財所有者などの保護活動を支援する。 ○重要文化財真田信之霊屋保存修理補助金 ・事業期間 令和元~3年度 ○重要文化財真田信重霊屋防災施設補助金 ・事業期間 令和元年度 ○県戸隠神社奥社社叢保存活用計画策定補助金 ・事業期間 平成30~令和3年度 ○指定文化財修復・復元補助金 ○無形文化財保護補助金 ○無形文化財保護補助金 ○文化財保護育成団体補助金	 ・所有者等の保護活動に対する支援を計画的に行い、各事業に対して補助金を交付した。 ・無形文化財保護 (13件、478千円) ・指定文化財環境整備(36件、789千円) ・文化財保護育成団体(2件、145千円)

(所属 文化財課埋蔵文化財センター)

事業名		 概 要		平成30年度の実施状況(成果・課題)等
1 埋蔵文化財発掘 調査受託事業	国・県の公共事業や民間宅地造成等の建設を対象とし、記録保存のための発掘調査を ◆事業見込み件数9件 調査面積5,5221	受託して実施する事業		・30年度に実施した記録保存のための発掘調査は8件で、整理調査4件のうち2件について「長野市の埋蔵文化財第153・154集」として調査報告書を刊行した。
	▼事業元だの下子級の下 間点面積3,3221 主な事業内容 綿内東町農地基盤整備事業 北野建設新長野本社新築工事 国道403号線関崎橋東道路改良ほか その他民間開発3件 長電小島分譲地造成工事	間 事来員13,647 [1] 遺跡名 清水原古墳群 県町遺跡 町川田遺跡、後町遺跡ほか 吉田四ツ屋遺跡ほか 中堰遺跡	調査面積 800 ㎡ 1,500 ㎡ 3,222 ㎡ 600 ㎡ 整理・報告書	・令和元年度は12件の発掘調査を予定しており、受託事業では農地整備・宅地造成・福祉施設、市施行事業では駅東口周辺整備や市道等改良工事に伴う発掘調査が主なものとなっている。
2 埋蔵文化財発掘調査市施行事業	市が施行する建設土木工事によって破壊さための発掘調査を実施する事業 ◆事業見込み件数7件 調査面積5,9171 主な事業内容 長野駅周辺区画整理(6号街区公園) 市道若穂西140号線道路改良事業 その他市施行事業2件 市道芋井105号線歩道整備事業 県庁大門町線道路改良 ほか1件		調査面積 657 ㎡ 600 ㎡ 4,660 ㎡ 整理・報告書 整理・報告書	・発掘調査においては、普及公開を目的として現地説明会や見学会を企画して現場公開を目指しているが、安全性や日程など本体工事との調整が不可欠となるため、全ての発掘調査現場を公開するには至っていない。 ・現地公開が困難である場合には、インターネット等で発掘調査の進捗状況をブログで公開するなど新たな手法による公開を始めており、概ね好評を得ている。
3 大室古墳群保存整備事業	国史跡大室古墳群の古墳とそれを取り巻くことを目的として史跡整備を実施する事業 ◆事業期間 平成9年度~平成25年度(エミーマ成26年度~(令和10年度)(注金・令和元年度事業(7,500千円) 古墳発掘調査、整備作業道設置工事、古整備専門家会議の開催、アクセス道路整	環境を保全し、公開の に シトランスゾーン) 遺構復元整備ゾーン) 墳2基の保存修理及び)場として活用する	・30年度は遺構復元整備ゾーンにおいて、古墳4基の発掘調査、整備作業道設置工事を行い、整備専門家会議による現地視察を実施した。 ・アクセス道路整備は、地元の対策委員会と協力して地権者との個別協議を実施し、9割を超える方の同意を得た。
4 埋蔵文化財分布調査	分布調査や現地踏査、各種開発事業に先立の保護協議に供すると共に、遺跡地図の精 ◆開発行為等に係る試掘確認調査 市内各遺跡において随時実施		Z会を実施し、以後	・30年度は試掘調査を30件、工事立会を88件実施し、その成果に基づいて遺跡地図情報システムのデータ更新を行った。令和元年度も引き続き蓄積情報の充実に努める。

事 業 名	実 施 概 要	平成30年度の実施状況(成果・課題)等
5 普及公開事業	◆遺跡地図情報システム(GIS)の整備充実 汎用GIS・公開GISを随時更新、遺跡台帳の更新 発掘調査成果の展示会や講座等を開催し、埋蔵文化財に関する市民の認識と関心を より一層深めてもらうための事業 ◆発掘調査速報展 発掘調査成果の即時公開を目的に、地域と連携しながら実施 ◆常設展示・出張展示 博物館や公民館などの関連施設で展示協力。事務室前に展示コーナーを開設 ◆発掘調査現地説明会 発掘調査現場の諸条件を鑑み、安全に配慮しながら実施 ◆体験学習受入れ 小・中学校や市立長野高校との連携を深めながら実施 ◆講師派遣・授業支援 原始・古代の歴史講座、勾玉作り教室、火おこし体験など 学校、育成会、公民館、老人福祉施設等での講座へ随時派遣 ◆インターネット 文化財データベースの公開、発掘調査情報などブログの更新	・30年度は、市役所1階の市民交流スペースと、大豆島・安茂里・芋井公民館において第20回発掘調査速報展「遺跡が語る長野の歴史」を開催した。また、公民館やPTA等が行う講演会や体験教室へ講師を派遣した。 ・ 地域の歴史に対する市民の関心は高まっており、埋蔵文化財を活用し効率よく普及啓発事業を展開していくことが課題となっている。24年度に運用を開始した「文化財データベース」を活用するなど、積極的な情報発信に努めたい。

(所属 松代文化施設等管理事務所)

	事 業 名	実 施 概 要	平成30年度の実施状況(成果・課題)等
1	特別展示 /真田宝物館	 ○「真田×刀」(さなだとかたな) 開催期間 令和元年6月29日(土)~9月23日(月) 前期 6月29日(土)~8月19日(水) 後期 8月21日(水)~9月23日(月) 大名道具の中で最も高い格式の品である「刀剣」について、真田家に伝来した刀剣を紹介するとともに、近年の調査で明らかになった松代藩の刀剣管理体制について紹介する。 	・松代藩にも大きな影響を及ぼした戊辰戦争から150年という節目を迎え、6月30日〜9月24日まで特別展「松代藩の戊辰戦争」を開催した。関連事業として、8月には「松代藩真田藩の戊辰戦争」、9月には「松代領民の戊辰戦争」の講演会を開催し好評を得た。入場者数は前年対比△12%と下回ったものの、「真田丸」の影響のなかった平成26年度
2	特別展示 関連事業	○記念講演 講師を招き講演会を開催:「将軍と大名家との刀剣贈答」 7月13日(土)	実績とほぼ同数となっている。

	事 業 名	実 施 概 要	平成30年度の実施状況(成果・課題)等
		 ○体験学習・ワークショップ ・「五寸釘で小刀ナイフをつくろう」・・・・・講師は日本刀剣文化振興協会・「刀の鍔(つば)の紋切あそび」・・・・・講師は松代文化財ボランティア・「刀剣演武」・・・・・武道会による実演・ギャラリートーク・・・・・期間中、学芸員による展示解説を実施 	・若年者への地域文化財への関心高揚を図るため、継続事業として「真田宝物館であそぼ!2018」、「かぶとを折ってかぶってみよう」、「プラ板で花押ストラップをつくろう」などを開催し、前年とほぼ同数の参加者を得られた。 ・松代文化財ボランティアの活動推進を目途に、新人ボランティア養成講座開催補助及び研修事業への協力を行い、活動の活性化に貢献した。
3	企画展	 ○「真田×刀」特別展プレ展示 4月24日(水)~6月23日(日) 真田家に伝来した刀剣や松代藩士用の刀剣を一部紹介 ○「真田家中」 3月27日(水)~6月23日(月) 真田家の原動力となった家臣の業績を振り返る ○「真田美術館へようこそ」 9月25日(水)~12月24日(月) 絵画の展示。特に生誕200年にあたる女性画家・恩田縁陰も展示 ○「襖に眠る古文書たちⅡ」 12月25日(水)~3月23日(月) 松代文化財ボランティアと協同の真田邸襖の下張剥がし成果の展示 	
4	特別展示	○文武学校オープン記念特別展「文武学校」 3月25日 (水) ~6月28日 (日) ○ひな人形の展示 (松代でひなまつり協力)	
5	常設展示	○真田家伝来の大名道具(真田宝物館)・・・年4回の展示替え ○佐久間象山とその時代(象山記念館)・・・年4回の展示替え	
6	子ども博物館	○「かぶとを折ってかぶってみよう」○「プラ板で花押ストラップをつくろう」○「武士・お姫様になってみよう」	
	ボランティア か推進	○真田邸土蔵体験館(真田邸3番土蔵) 開催日 第1・第3水曜午前、第1・第3土曜午後、第2・第4日曜 ○施設案内ブックレットの作成 「こども松代みて歩き」など 2,000部 ○新規ボランティア養成講座の補助	
8	収蔵資料の修繕等	等 ○刀剣の手入れ、研磨 十文字槍 銘山城国住下坂 ○収蔵資料の修繕 「真田幸隆肖像画」「ひごの図」など6点修復	

(所属 博物館)

事 業 名	実 施 概 要	平成30年度の実施状況(成果・課題)等
1 常設展示事業	○長野市立博物館本館:長野盆地の歴史と生活を主題に各分野資料を総合的に展示 ○戸隠地質化石博物館:大地の生い立ちをテーマに化石や自然科学資料を展示 ○鬼無里ふるさと資料館:鬼無里の自然と生活を主題に屋台と和算等の資料を展示 ○信州新町美術館:信州新町地域にゆかりの美術作品を展示 ○信州新町化石博物館:信州新町地域の化石を中心に、復元模型や骨格標本を展示 ○有島生馬記念館:有島生馬の油彩画、書、印章、書籍類などの作品や資料を展示	・主要事業である特別展・企画展は市民ニー ズを考慮して内容の充実を図り以下の展示を 実施した。
2 特別展示事業	【長野市立博物館本館】 ○特別展「神と仏が宿る里―北信濃の山寺―」 9月14日(土)~11月17日(日) ○企画展 「サムライの威容―佐藤コレクションを中心に―」 4月20日(土)~6月23日(日) 「理科美図鑑~科学をアートする~」 7月13日(土)~9月1日(日) 「石ころものがたり~アンダーグラウンド長野~」 7月13日(土)~9月1日(日) 収蔵品資料展「わらの手仕事」 令和2年1月~3月	【長野市立博物館本館】 ○特別展 「川中島の戦いにまつわる物語〜近世芸能と川中島の戦い〜」 ○企画展 「川中島の戦いと善光寺」 「太陽系探検ツアー〜探査機が見た美しい宇宙〜」 「海の王者 クジラ」 「道具が語る人の動き・物の流れ〜この茶壺は どこから来たの?〜」
	【戸隠地質化石博物館】 ○企画展 春の企画展「昭和の学校を体験!~目からうろこの教材たち~」 3月16日(土)~6月16日(日) 夏の企画展「別冊・理科美図鑑+α~こだわりの世界~」 7月13日(土)~9月1日(日) 秋の企画展「あなたの知らない豆の世界(仮)」 9月14日(土)~12月1日(日)	【戸隠地質化石博物館】 ○企画展 「保科五無斎〜生誕150周年記念展〜」 「めざせ戸隠山〜未知を求めて登った人々 〜」 「石ころから探る長野盆地」

事 業 名	実 施 概 要	平成30年度の実施状況(成果・課題)等
	【信州新町美術館】 ○企画展 祝・北信美術会70周年「北信展を飾った作家たち」 3月9日(土)~6月16日(日) 知られざる創作版画家~小泉癸巳男 4月27日(土)~7月21日(日) 水彩画家・赤城泰舒生誕130年展 6月29日(土)~令和2年2月23日(日) 「第35回信州書道秀作展」 8月6日(火)~9月8日(日) 高木一也水彩画展(仮) 9月14日(土)~令和2年1月19日(日)	【信州新町美術館】 ○特別展 スズキサトル『きょうりゅう』絵本原画と ブッシュクラフトワーク展 ○企画展 「第34回信州書道秀作展」 「Fの会グループ展〜元美術教師たちの 展覧会」 所蔵作品展(開催順) 「山を眺めるⅡ」「花華展」「人・ふれ あい・出会い〜人物画を中心に」「ものを 見る〜静物画を中心に」
	【信州新町化石博物館】 ○企画展 「信州新町周辺のクジラ化石」 4月20日(土)~6月16日(日) 「公開10周年記念 新町にディプロドクスがやってきた!」 6月29日(土)~9月1日(日) 「生誕140周年 博物学者 八木貞助展」 12月7日(土)~令和2年3月8日(日)	【信州新町化石博物館】 ○企画展 「信州新町周辺のクジラ化石」 「恐竜時代の海の生き物たち」 「魚の化石」
3 プラネタリウム 事業	 ○通常投影 4・5月の星座 +「あなたも星座博士」 6月の星座 +「月のヒミツ〜アポロ計画から50年〜」 7・8月の星座 +「ゴッホの描いた星空」 9月の星座 +「月のヒミツ〜アポロ計画から50年〜」 10・11月の星座 +「宇宙のかけら」 12・1月の星座 +「流れ星」 2・3月の星座 +「美しいオーロラ」 ○特別投影 夏休み・春休み期間の投影 幼稚園、保育園、特別支援学校等対象の投影 ○リラックスプラネタリウム:星と音楽の世界をプラネタリウムで演出 ○満天の星空タイム:学芸員による生解説 ○夜のプラネタリウムと星空観察:プラネタリウムの投影と望遠鏡での星空観察 ○プラネタリウム演劇 	【平成30年度入館者数】 博物館本館 35,561人 プラネタリウム 16,168人 戸隠地質化石博物館 10,001人 鬼無里ふるさと資料館 3,622人 信州新町美術館・化石博物館 11,242人 ミュゼ蔵 3,975人 ちょっ蔵おいらい館 6,513人

	事 業 名	実 施 概 要	平成30年度の実施状況(成果・課題)等
4	教室・講座事業	【長野市立博物館本館】 ○こども体験の広場:毎週土曜日、長期休み期間中に実施 木工あそび、博物館でお抹茶デビュー、さきおりコースターを作ろう他 ○総合講座「ほんものゼミナール」 各分野の研究成果を実物資料を用いて解りやすく解説 ○手仕事の時間:大人を対象とした体験講座 わらの鍋敷き、アクセサリー作り他	・博物館本館は開館から38年目を迎えるが、 この間の研究の進展を常設展示に反映できない状況が続いており、展示のリニューアルが 求められている。また、前回更新から20年以 上経つプラネタリウム投影機が老朽化してお り、機器の更新が必要になってきている。
		【戸隠地質化石博物館・信州新町化石博物館】 ○自然観察教室:親子を対象に野外観察に関する教室を開催 ○わくわく博物館教室:博物館資料を活用した子ども向け教室 ○植物観察会:市内各地で植物観察会を実施 ○地層観察会 ○教員向け地層観察講習会	・合併により分館・付属施設が増加したが、 施設の統廃合も視野に入れた再編や活性化を 地元と協議していく必要がある。
5	博物館行事	○博物館まつり 9月23日(月・秋分の日)	
6	博学連携事業	○市内小中学校への移動展示・資料貸出しなど○小学校の社会見学の受け入れ	
7	定期刊行物	○紀要、年報、博物館だより、収蔵資料目録等の刊行	
8	資料整理• 調査研究事業	○収蔵資料のデータベース化作業と閲覧システムの整備 ○特別展・企画展関係の資料調査	
9	実習等受入	○博物館実習、インターンシップ就業体験、中学生職場体験等の受入	
10	無料開放日	○小中学生無料 毎週土曜日(こどもウェルカムデー) 5月5日(こどもの日) ○入館者全員無料 9月16日(敬老の日)9月23日(秋分の日)11月3日(文化の日)	

(所属 人権・男女共同参画課)

事 業 名	実 施 概 要	平成30年度の実施状況(成果・課題)等
1 社会人権教育事業 (1) 人権教育推進 団体・部署へ の支援	各地区住民自治協議会の人権教育・啓発担当部署との連携・協働を図り、地域に おける人権教育を支援する。 長野市企業人権教育推進協議会を補助・育成し、企業における人権教育の推進、 指導者の養成を図る。	 ・各地区住民自治協議会担当者説明会開催 ・長野市企業人権教育推進協議会が開催する 研修会の支援 【参考】 企業人権教育担当者研修会開催 各企業(従業員等)を対象にした一日研修講座を4日間開催 企業経営者研修会開催

事 業 名	実 施 概 要	平成30年度の実施状況(成果・課題)等
(2) 地区人権教育 指導員活動 支援	指導員を各地区住民自治協議会に配置いただき、指導員の地域内での活動に対し、助言や情報の提供等の支援を行う。(必須事務) 人権教育指導員研修会を5回予定	・人権教育指導員研修会を5回実施(うち3回は社会人権教育研修会として市立公民館長も出席)
(3) 人権同和教育 集会所管理	15ヵ所の人権同和教育集会所で、人権同和問題学習講座を開催。集会所の管理運営は地域の役員等で構成されている運営委員会へ委託している。	・人権同和教育集会所では、地域の実情に応じ人権教育に取り組んでいる。
2 人権啓発事業 (1) 啓発指導事業	啓発ポスター・標語の募集及び作成・配布 市報・テレビ・ラジオ・トイーゴビジョン、バス社内広告等による啓発 「人権ながの」・「みんなのねがい」等啓発資料の作成・配布 啓発ビデオ・DVDの購入・貸出し 各種研修会へ指導主事を派遣し実践指導・助言 「人権教育啓発だより」の発行	・企業研修及び地区研修会への指導主事派遣 (企業2回、地区29回)
(2) 研修会・地区 研修会の開催	32地区住民自治協議会の人権教育・啓発担当部署が主体となって地区毎に研修会、地区市民集会を開催する。(必須事務)	・地区研修会、市民集会の開催 開催回数 398回 参加者数 13,868人 ・過疎化・高齢化等により、地区毎の研修会 を開催するのが困難な地区も出てきている。
(3) 市民集会の 開催	第42回人権を尊重し合う市民のつどい(12月15日:長野市芸術館予定) (長野県人権フェスティバル2019と共同開催) 講師:選考中	・30年度実績 講師 江川紹子さん 演題 「今を生きるために大事なこと 〜自分の感性と想像力を大切にしよう〜」 出席者数 400名

《資料提供》

(所属 文化芸術課)

事 業 名	実 施 概 要	平成30年度の実施状況(成果・課題)等
1 芸術文化振興基金 活用事業	芸術文化振興基金を活用し、文化芸術事業の振興を図る。	
	• 主催事業 長野市風景画展	・長野市風景画展 出品者235人 入場者数2,291人
	· 共催事業 長野市文化芸術祭、長野市民演劇祭、北信美術展 等	
	·助成事業 芸術文化振興基金助成事業	・助成事業 30団体 3,425千円
2 文化施設管理運営	(1) 長野市芸術館	
	文化芸術の交流及び創造の拠点として、各種自主事業の実施や文化芸術活動の場 を提供することで、文化芸術の振興を図る。	長野市芸術館メインホール利用者数 114,990人
	(2) 東部文化ホール	リサイタルホール利用者数 20,946人 アクトスペース利用者数 16,682人
	文化芸術活動及び交流の場として適正な管理運営を行い、市民の利用を促進す る。	練習室等利用者数 26,729人 合計 179,347人
	(3) 松代文化ホール	
	文化芸術活動及び交流の場として適正な管理運営を行い、市民の利用を促進す ス	

(所属 スポーツ課)

事 業 名	実 施 概 要	平成30年度の実施状況(成果・課題)等
1 生涯スポーツの振興	 (1) 健康寿命の延伸に寄与する生涯スポーツの推進アスポーツ教室の開催・若返り体操教室・ピラティス教室ほか 48教室(参加予定人員)1,780名 イスポーツイベントの開催・NAGANOスポーツフェスティバル・飯綱高原健康ウォーキングフェスティバルウスポーツに関する情報提供・市ホームページのスポーツコーナーの充実 	 (1) 生涯スポーツの推進 ア スポーツ教室の開催 総合型地域スポーツクラブと連携し、健康の保持増進と体力の向上を図るため各種スポーツ教室を開催した。 ・若返り体操教室(25会場、35コース)参加者1,019名 ・その他教室(主催14教室、共催4教室)参加者計300名 イ スポーツイベントの開催市民にスポーツ・レクリェーションに親しむ機会を提供した。

事業名	実 施 概 要	平成30年度の実施状況(成果・課題)等
	エスポーツ施設等の活用・スポーツ施設の無料開放	 第45回NAGANOスポーツフェスティバル参加者2,454名 ・飯綱高原健康ウォーキングフェスティバル参加者600名。 ウスポーツに関する情報提供市のホームページ「DO! SPORTSながの」において、市内で活動するスポーツクラブ等の紹介や募集案内のほか、スポーツ指導者の案内等を掲載した。エスポーツ施設等の無料開放スポーツ施設等の一部を無料開放スポーツ施設等の一部を提供することで、スポーツに親しむ機会を提供することで、スポーツに親しむ機会を提供することで、スポーツに割りの路を実施した。・元日(1月1日)・市民スポーツの日(毎月第3日曜日)・長野オリンピック記念平和とスポーツの日(2月7日)・体育の日(10月8日)・エムウェーブ無料開放(11月18日、12月9日、1月27日)
	(2) 地域における自主的なスポーツ活動の促進 ア スポーツ推進委員の資質向上 ・スポーツ推進委員に対する研修会の開催 ・スポーツ推進委員主催のイベントの開催 イ 総合型地域スポーツクラブとの積極的な連携や協働 ・スポーツ教室の共催 ・長野市総合型地域スポーツクラブ連絡会の開催 ウ 地域コミュニティ団体のスポーツ活動の促進 ・出前講座の講師紹介	(2) 地域における自主的なスポーツ活動の促進アーカスポーツ推進委員協議会主催の研修会を開催した。(9月2日) イ総合型地域スポーツクラブと次のとおり連携事業を実施した。・長野市総合型地域スポーツクラブ連絡会(10月9日)・若返り体操教室(全35教室のうち27教室)・第45回NAGANOスポーツフェスティバルの企画・運営・ポールを使ったウォーキング体験会 4回・健康体幹トレーニング教室(8回)ウ 出前講座の講師について総合型地域スポーツクラブの指導者を3回紹介し、地域公民館等の地域コミュニティ団体のスポーツ活動の促進につなげた。

事業名	Ż	実 施 概 要	平成30年度の実施状況(成果・課題)等
		(3) 障害者のスポーツ参加の機会拡大 ・関係機関との連携 ・障害者スポーツの普及、振興	(3) 障害者のスポーツ参加の機会拡大 ・第49回長野市障害者スポーツ大会を開催 ・第45回NAGANOスポーツフェスティバルにお いて障害者スポーツ体験会等を開催 ・第2回NAGANOパラ★スポーツデーを開催 ・ニュースポーツ等の体験会、講習会の開催 ・第14回長野車いすマラソン大会を支援